

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
文学	共通	1年生・前期	2単位	選択	全 彰煥
履修の前提条件	① 各作品の「あらすじ」と「作品の背景」を事前に熟読すること。 ② 与えられる資料を理解すること。				
授業概要 (Course Outline)					
① 近・現代のアメリカ文学の代表作の内容、背景と作家について説明する。 ② 作品の主な部分を日本語で輪読する。 ③ 各作品の映画を鑑賞し、原作と比較した感想文を提出しなければならない。					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture				○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening				○
	数量的スキル Mathematics				
	情報リテラシー Information Literacy				
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				○
	問題解決力 Problem Solving				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy				
	自己管理能力 Self-management				○
	チームワーク Teamwork				
	リーダーシップ Leadership				
	倫理観 Ethical Sense				○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility				○
	生涯学習力 Lifelong Learning				○
到達目標 (Objectives)					
グローバル時代の世界文化の理解、国境を越えた情報化時代の教養知識を、世界の文学作品を通して習得することを目標とする。					
事前学習の内容	① 各作品別にその国の当時の時代背景を調査・学習する。 ② 作家と作品に対する批評を調査・学習する。				
事後学習の内容	① 日本語訳原文を読む。 ② 原作と映画を比較鑑賞する。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
① 作品別に関連資料を自主的に調査して、演劇・映画・音楽・美術等を鑑賞、経験する。 ② 作品別に原作(日本語版)と映画(DVD)の比較感想文を作成して、討論会を実施する。					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
① 連絡・問い合わせ・相談: 研究室(453)にて随時受け付ける。 ② オフィスアワー: <月>2, 4限目/<水>2~5限目 ③ メール: jonhan@kiis.ac.jp					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
① 外部試験: 該当なし ② 学習確認: ポートフォリオ「科目別履修確認チェック表」必要事項を記入して提出する。					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション (アメリカ文学の過去と現在)		
第2回	『アッシャー家の崩壊』①	『The Fall of the House of Usher』: Edgar Allan Poe	
第3回	『アッシャー家の崩壊』②	『The Fall of the House of Usher』: Edgar Allan Poe	
第4回	『アッシャー家の崩壊』③	『The Fall of the House of Usher』: Edgar Allan Poe	
第5回	『グレート・ギャツビー』①	『The Great Gatsby』: Scott Fitzgerald	
第6回	『グレート・ギャツビー』②	『The Great Gatsby』: Scott Fitzgerald	
第7回	『グレート・ギャツビー』③	『The Great Gatsby』: Scott Fitzgerald	
第8回	『グレート・ギャツビー』④	『The Great Gatsby』: Scott Fitzgerald	
第9回	『ライ麦畑でつかまえて』①	『The catcher in the rye』: Jerome David Salinger	
第10回	『ライ麦畑でつかまえて』②	『The catcher in the rye』: Jerome David Salinger	
第11回	『ライ麦畑でつかまえて』③	『The catcher in the rye』: Jerome David Salinger	
第12回	『ライ麦畑でつかまえて』④	『The catcher in the rye』: Jerome David Salinger	
第13回	『カッコーの巣の上で』①	『One flew over the cuckoo's nest』: Kenneth Elton Kesey	
第14回	『カッコーの巣の上で』②	『One flew over the cuckoo's nest』: Kenneth Elton Kesey	
第15回	『カッコーの巣の上で』③	『One flew over the cuckoo's nest』: Kenneth Elton Kesey	
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
1)『黒猫・アッシャー家の崩壊』	エドガー・アラン・ポー 巽 孝之 訳	新潮文庫	978-4-10-202804-9 C0197
2)『グレート・ギャツビー』	スコット・フィッツジェラルド 村上 春樹 訳	中央公論新社	4-12-403504-7 C0097
3)『ライ麦畑でつかまえて』	J.D. サリンジャー 野崎 孝 訳	白水ブックス	4-560-07051-2 C0297
4)『カッコーの巣の上で』	ケン・キージー 岩元 巖 訳	白水社	978-4-560-07192-2
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
『面白いほどよくわかる世界の文学』	世界文学研究会	日本文芸社	978-4-537-25197-5 C0098
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
① 定期試験 ⇒ 40%、感想文 ⇒ 30%、平常点 ⇒ 30%			
② 平常点は、「討論会」、「ポートフォリオ:科目別履修確認チェック表」の評価を含む。			

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
文学	共通	1年生・前期	2単位	選択	進藤 康子
履修の前提条件	日本の文学に関心を持っていること。テキストの解説や現代語訳を読んでおくこと。				
授業概要 (Course Outline)					
世界中に翻訳されている『雨月物語』9話のうち2話をとりあげ学習する。中国の怪異小説を取り入れたことで有名だが、日本の伝統、文化に翻案し再構築した構成要素をおもしろく学習する。留学生にもわかりやすいように、なじみやすい言葉で解釈し鑑賞する。また、作者上田秋成の思想について解説し、現代に通じる人間の強さ、弱さ、美しさ、醜さ、善悪などの心の変化とその本質を洞察できる力を身につけるように指導する。					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture				○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening				○
	数量的スキル Mathematics				
	情報リテラシー Information Literacy				
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				○
	問題解決力 Problem Solving				○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy				○
	自己管理能力 Self-management				○
	チームワーク Teamwork				
	リーダーシップ Leadership				
	倫理観 Ethical Sense				○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility				
	生涯学習力 Lifelong Learning				○
到達目標 (Objectives)					
この授業の目標は次の3つ。第1に怪異小説『雨月物語』の内容を理解し、人間の心理の動きを味わう。第2に人の心の美しさや恐ろしさの裏にある人間の本質を解き明し、現代に通じる問題解決力を見いだすことができるようになること。第3に『雨月物語』と原話の中国白話小説を比較することにより、日本独自の表現方法や特徴、作者の文学理念が理解できるようになること。					
事前学習の内容	教科書の指定する部分について読んでくること				
事後学習の内容	教科書・プリント・ノートなどを読んで授業の内容に理解を深めること。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
授業の内容に関して、受講者が自ら興味のあるテーマを設定し、レポートを作成する。常に対話型の授業をし、学生からの積極的な発言や質問、提案などを期待する。					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
連絡、問い合わせ、相談質問は、授業の終わりに随時受け付けます。					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	授業の方針、オリエンテーション。日本の文学について プリント1		
第2回	江戸時代の文学について。雨月物語について プリント2		
第3回	作者上田秋成の人物と思想について プリント3。 第一回「理解度チェック」ミニテスト		
第4回	雨月物語の「菊花の約」解釈1とプリント4「中国の怪異小説と日本文学」について		
第5回	雨月物語の「菊花の約」解釈2とプリント5「翻案小説」について		
第6回	雨月物語の「菊花の約」解釈3とプリント6「寓意」について		
第7回	雨月物語の「菊花の約」解釈4とプリント7「白話小説」について		
第8回	雨月物語の「菊花の約」解釈5とプリント8 第二回「理解度チェック」ミニテスト		
第9回	雨月物語の「蛇性の淫」解釈1とプリント9「粋」「もののけ」について		
第10回	雨月物語の「蛇性の淫」解釈2とプリント10「水滸伝」について		
第11回	雨月物語の「蛇性の淫」解釈3とプリント11「白話語とルビの意味」について		
第12回	雨月物語の「蛇性の淫」解釈4とプリント12 第三回「理解度チェック」ミニテスト		
第13回	雨月物語の「蛇性の淫」解釈5とプリント13「源氏物語」について		
第14回	「菊花の約」と「蛇性の淫」のまとめ プリント14 質問タイム。自分のテーマを決定しレポート提出		
第15回	江戸文学の世界に遊ぶ。ビデオ鑑賞とマンガで読む『雨月物語』プリント15 レポートをもとにディスカッションする		
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
雨月物語	上田秋成	角川文庫ソフィア	
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
戯作研究	中野三敏	中央公論社	
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
<p>成績評価の方法: 定期試験70% 平常点30% (出席・レポート・ディスカッション・受講態度など) 成績評価の基準: 小説の内容を理解しているか。人間の心の美しさや恐ろしさにある心の本質を解き明し、現代に通じる人間理解への洞察力を身につけたか。日本独自の表現方法や特色を理解できたか。</p>			